

★鹿児島県のうそ電話詐欺等被害状況

認知件数 259 件 被害額約 12 億 8 千万円

(令和 7 年 6 月末日 県警資料より)

ご注意! SNS だけでのつながりを持つ人物!
SNS 上で仲良くなった相手から「金銭要求」
があったら詐欺だと疑ってください!

6 月の主な被害

★金融商品詐欺 (男性芸能人が載った広告、遠隔操作)

パソコンでインターネット閲覧→男性芸能人が載ったサイト広告「儲けられるよ」→サイト登録→片言の日本語を話す女性「ワタナベ」→遠隔操作する→暗号資産での投資話→「言うとおりのれば稼げるよ」→画面上で多額の利益→手数料要求→暗号資産で支払い被害に遭う

★架空料金請求詐欺 (副業サイト、隙間時間で稼げる)

インスタグラムを閲覧→広告「隙間時間で稼げる」→広告をタップ→LINE に誘導→LINE 友達追加→「すずみ」→「動画を視聴して」→少額利益の送金を受ける→本物だと信じる→高額報酬課題に誘導→必要費用を要求→現金を振込み被害に遭う



★SNS 型ロマンス詐欺 (高額被害、ネットショップ運営)

TikTok→ダイレクトメッセージ「フォローありがとう」→メッセージのやりとりを継続→LINE に誘導→ネットショップ運営を手伝って→商品代の前払い→暗号資産等で 50 回以上送金して被害に遭う

★国見中で情報モラル教室を実施

6 月 12 日 (木) に、国見中学校で情報モラル教室が実施されました。

講話では、肝付警察署の署員が、昨年に引き続きクイズ方式で行い楽しく学習しました。問題によっては昨年学習した 2・3 年生も解答が分かれ、1 年生は自信なさそうに手を上げていました。

最後に、インターネットやスマートフォンを安全に



使うために、「人に迷惑をかけない。簡単に相手を信用しない。困ったことがあったら、すぐに保護者や先生に相談すること。」と話しました。

★～薬物乱用防止教室を実施～

7 月 10 日 (木) に波野中学校で、1 年生を対象に薬物乱用防止教室が実施されました。

教室では、「薬物の乱用が脳や体に悪影響を与え、交通事故、自分を傷つける、自殺未遂等薬物を使った人の結末は残酷で、最悪の場合は死に至ることもある。」と薬物乱用の怖さを学びました。

最後に「薬物乱用の危険性は身近に存在している。ゼツタイに手を出さないという自覚とダメと断る勇気



を持つこと。何かあれば一人で悩まず親や警察など、周りの大人にすぐに相談すること。」等指導して終わりました。

★こども園・小学校で不審者対応訓練

6 月 10 日 (火) にあけぼのこども園で、6 月 24 日 (火) に内之浦小学校で、不審者対応訓練が実施されました。

こども園・小学校ともに、園内・校内に不審者が侵入し、職員が対応している間に出入口を施錠し、子ども達の安全を確保する想定で実施されました。

訓練終了後には、警察署員との意見交換会が行われ、「不審者への対応や子ども達の安全確保は、その時の状況に応じた対応が取れる方策を共有することが大事。」、児童には、「怪しいと思ったらすぐ逃げること。」と話し、訓練を終了しました。



★児童・生徒に防犯ティッシュ配布

夏期休暇前に管内の小学生 (4 年生以上 504 名)・中学生 (719 名)・高校生 (160 名) に、SNS 等を利用した犯罪や闇バイト等に加担することがないように、また、中・高校生には、日本たばこ協会寄贈の喫煙防止を呼びかけるティッシュも併せて配布しました。

